



新海 修 (樹影の陽だまり)

新海 修 二人展 村上典子

樹・光

— 交感する造形 —

2025 8.6 WED ▷ 8.24 SUN

岐阜市歴史博物館分館

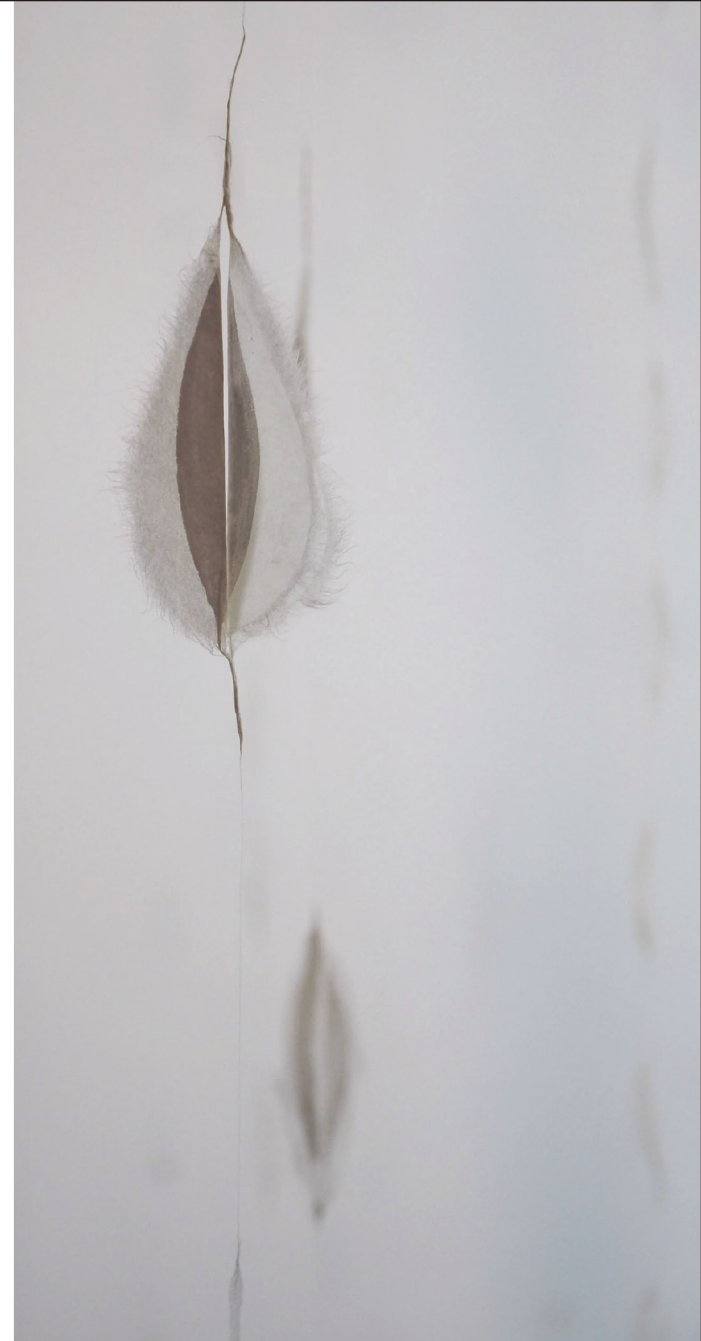
加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内) TEL・FAX058(264)6410

開館時間：午前9時～午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日【8月11日は開館】

観覧料：高校生以上310円(団体250円) 小中学生150円(団体90円)



村上典子 (2024.8光を擁うII)

※()内は20人以上の団体料金。

※下記の方は無料で入館していただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

①岐阜市内在住の70歳以上の方

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方、及びその介護者1名様

③岐阜市内の小中学生の方

④家庭の日(8/17)に入館する中学生以下の方と、同伴する家族(高校生以上)の方

※岐阜市歴史博物館特別展「岐阜城と織田信長」(8/8～10/13)の半券で入館していただけますのでご提示ください。



新海 修

Osamu Shinkai

—土の匂い、草木の匂い—
 田に水が落ち、宙にツバメが舞う
 葉むらを揺らす風は、新緑とともに
 生きものたちの響きを運んでくれます。
 内なる心が求めるモチーフを探してきました。
 その響きがあるがままに受け取り、絵にしたいのです。
 それはとても難しいことです。
 私は樹木の影のイメージを仮(借)りて描くことにしました。
 そこには影法師のような幻影も現れることでしょう。
 瑠璃系蜻蛉の夢のような浮遊感に魅せられるのも
 この季節からですね。

略歴

- 1954 岐阜県関市に生まれる
- 1966 石原ミチオに学ぶ
- 1982 水谷勇夫氏主宰「なごや絵学校」(~86年)
- 1983 第三世界とわれわれ展(東京都美術館)
- 1984 岐阜アンデパンダン・アート・フェスティバル20年後の動向展(岐阜県美術館)
- 2006 第60回岐阜県美術展県展賞 以後2007優秀賞
- 2008 第62回岐阜県美術展委嘱出品 以後2012
- 2012 ビエンナーレうしく展第4回全国公募絵画展入選
- 2013 第14回源流展 以後毎年
- 2014 関市の絵画4人展(関市立篠田桃江美術空間)
- 2016 川・水の街道3人展(岐阜現代美術館・関市)
- 2018 個展(画廊光芳堂・岐阜市)
- 2020 個展(ぎふチャンアートギャラリー・岐阜市)
- 2023 個展(関市立篠田桃江美術空間)
- 2024 個展(ギャラリー名芳洞・名古屋市)

2009から中部学院大学オープンカレッジ絵画教室講師



陰の語らい



樹影と影法師



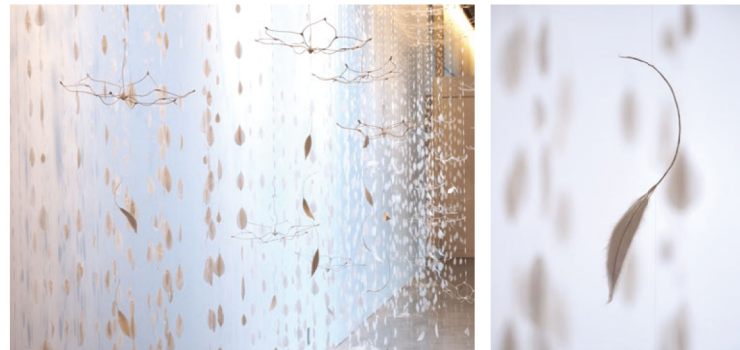
村上 典子

Noriko Murakami

清らかで、しなやかな そしてあたたかみのある
 美濃紙に日々触れながら
 新たなるかたち(光)を創り続けています。
 空間に吊るした無数のしずくの連なりは、
 大切な"命"の繋がりで。
 命のしずくは、風・けいはいを感じて光とともに揺らぎ、
 私たちに降りそそぎます。
 光(希望)を纏うような空間を、刻の移ろいとともにご来場の
 皆様と互いに感じ合うことが出来たら嬉しく思います。

略歴

- 1962 愛知県に生まれる(現在 岐阜県各務原市在住)
- 1984 名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画 卒業(11期生)
Space to Space ギャラリー(名古屋市)
- 1994 あかりフェスタオブジェ展(岐阜市)、美濃和紙あかりアート展(美濃市)
- 2000 グループ源流展(岐阜県美術館)以後毎年
- 2001 街並みアート ショーウィンドー(岐阜市文化センター)
- 2002 ヘアースタジオ&アートスペース(チッタ)(各務原市)
- 2004 名古屋芸術大学アート&デザインセンター BE(北名古屋市)
ギャラリー MOCA(名古屋市)以後2020
- 2006 YEBISU ART LABO 3人展(名古屋市)
- 2012 ギャラリーいまじん(岐阜市)以後2016、2021、2025
ノリタケの森ギャラリー 第一展示室(名古屋市)
- 2013 if イフ糸布 グループ展(愛知県芸術文化センター8F ギャラリー)以後隔年
- 2014 富士芸術村 紙のアートフェスティバル(富士市)以後2018
- 2018 家田陽介 村上典子 二人展(吉田工房:美濃市)
- 2019 岐阜市歴史博物館 夏休み子ども教室(岐阜市歴史博物館)以後毎年
- 2020 浅井彰子朗読公演 舞台インсталレーション(ぎふ清流文化プラザ・岐阜市)
- 2021 全国和紙画展 アート部門(美濃和紙の里会館・美濃市)以後2022、2023、2024
- 2023 UTOPIAN 珈琲ハウスゆうとび庵(一宮市)
- 2024 10 imagines ギャラリーいまじん 15周年記念企画展(ぎふメディアコスモス・岐阜市)
ファンゴッホと日本近代アート展 NO.3(名古屋画廊ショーウィンドー・名古屋市)



2024.光を纏うII (ぎふメディアコスモス・岐阜)より

第1展示室

加藤栄三・東一

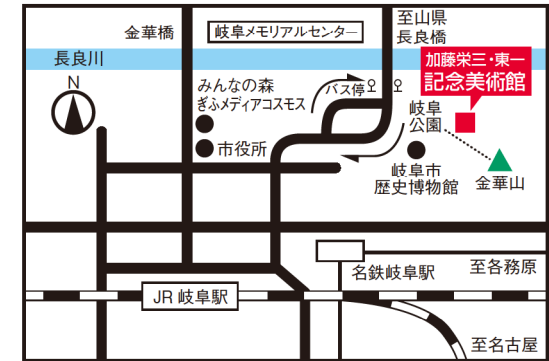
岐阜を描く



加藤栄三(涼(総がらみ))

岐阜市美殿町で生まれた栄三・東一は、東京美術学校(現東京芸大)日本画科を卒業後、故郷岐阜には帰らず、東京近郊に居を構え、日展を中心に作品を発表しました。しかし、多感な少年期を過ごした故郷岐阜への思いは強く、たびたび帰郷しては、長良川の鶺鴒、金華山、高山祭など岐阜の風物を多く描きました。本展では二人が描いた当館所蔵の本画、下絵、素描の中から岐阜の風物を描いた作品を紹介します。

2025年7月9日(水)~9月28日(日)



岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX058(264)6410

- 交通案内** JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きのバスにご乗車ください。「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分) 徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ・山麓駅横)
- 駐車場** 岐阜公園北側の境外駐車場(有料)をご利用ください。駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページ